

Green Days

Jan.2022 Vol.111

社会福祉法人一誠会 広報誌『グリーン・デイズ』

特集

広域災害を想定した 総合防災訓練！

～岐阜県、北海道のグループ法人との連携でご利用者の命を守る～



一誠会で働く スタッフ 募集

求める 職種

- 介護職員（特別養護老人ホーム）
- 看護職員（訪問看護）
- 訪問介護（登録ヘルパー）

未経験者から有資格者まで、
年齢層も幅広く働いています。
有資格者優遇、
各種資格取得支援制度もあり。

詳細は、ホームページをご覧ください
下記に、お問い合わせください！
☎042-691-2830

職員紹介～注目の人～

ここでは、一誠会の中で注目すべき職員を紹介していきます。今回は、競馬が好きな職員を紹介します。

偕楽園ホーム
介護課 介護職員

本間 悠介

きっかけはゲームからで競馬歴4年。推しは白毛のソダシ、名前の通り白馬です。また、歴代の馬ではサイレンスズカ生涯成績16戦9勝1998年11月1日5歳天皇賞(秋)事故により悲劇的な結末を、心に残る馬です。



偕楽園ホーム
介護課 介護職員

岩崎 愛

テレビを観ている馬に一目惚れしたのがきっかけ、競馬歴12年。推しはカツジ、ディーブインパクトの子です。歴代の馬では一目惚れしたスノードラゴン葦毛の馬体が眩しく輝いて見え、11歳まで活躍した馬です。



Event イベントスケジュール
(2月・3月の一誠会からのお知らせ)

◆行事の開催予定

- 2月 節分/3月 ひな祭り デイサービス・グループホーム初音の杜/第二偕楽園ホーム/偕楽園ホーム
- 3月25日(金) 社会福祉法人一誠会 ボランティア感謝の集い 場所/偕楽園ホーム
- 令和4年3月5日(土) 社会福祉法人一誠会 実践研究発表大会 場所/偕楽園ホーム

※各事業所から、別途、詳細をご案内いたします。

◆地域交流会(万講座)の開催◆

日時	令和4年2月5日(土)
内容	予防できる生活習慣病
講師	八王子市健康講座
場所	偕楽園ホーム
時間	14時00分～15時30分

本会主催の行事や講座については、新型コロナウイルスの影響拡大に鑑み、開催を延期や中止させていただくことがあります。また、お申込みいただいた皆様には、延期後日程が決定次第、別途ご案内させていただきます。なお、感染症予防対策としてご来訪の皆様には検温などご協力いただくこともご了承ください。

◆地域福祉研修の開催◆

日時	令和4年2月25日(金)
講演	科学的介護システム「LIFE」による加算算定について
講師	東京都介護支援専門員実務研修講師 特別養護老人ホームやすらぎの家 施設長 林正氏
場所	偕楽園ホーム
時間	16時00分～17時30分

地域福祉に関心のあるすべての従事者が、地域との協働や地域へのアプローチに向けた知識やスキルを学ぶ研修です。

社会福祉法人一誠会
http://www.kairakuenhome.or.jp/



一誠会では、次のSNSでも情報を知ることができます。
 ◎Facebook(フェイスブック)
 ◎Twitter(ツイッター)
 ◎Instagram(インスタグラム)
 ◎Amebaブログ(アメブロ)
 ホームページからリンクもしていますのでご覧ください。

一誠会からのお知らせ

新型コロナウイルスの感染者数の増加がみられています。来る3月25日(金)に「ボランティア感謝の集い」を開催する予定ですが、感染状況に応じて延期の可能性もあります。今後も感染予防を徹底しつつ、ボランティア活動が実施できる方法も検討してまいりますのでよろしくお願いいたします。



広域災害を想定した総合防災訓練！

岐阜県、北海道のグループ法人との連携でご利用者の命を守る

昨年11月29日(月)、一誠会のグループ法人である岐阜県中津川市に本部のある社会福祉法人五常会、北海道函館市に本部のある戸井福社会と合同で、総合防災訓練を実施しました。



開始ミーティングの挨拶で、グループ法人間での相互支援協定締結までの経過、訓練の趣旨などを説明する水野常務理事（写真中央）

広域の法人間による協定の締結

西日本を中心に甚大な被害となった平成30年7月豪雨、関東甲信越を中心に広域かつ甚大な被害を出した令和元年台風第19号など過去の広域災害を教訓として、令和2年2月22日に、一誠会ではグループ法人間で「災害緊急時等における相互支援協定」を締結しました。

浸水被害を想定した緊張感漂う訓練に

訓練では、大雨による第二階楽園ホームの浸水被害を想定し、グループ法人の職員はもちろん、八王子消防署榎原出張所から所長ら5名の方々、地元加住町会、宮下町会の会長にもご参加いただき、救済物資の運送、避難誘導、炊き出しなど、本番さながらの緊張感のある訓練になりました。

グループ法人としてメリットを活かして

令和4年度から「社会福



浸水被害を想定し、1階のご利用者を2階に避難。厨房設備の被災を想定し、偕楽園ホームから食事の運搬などリアリティのある訓練になりました

「社連携推進法人制度」が施行されます。これは、福祉サービス事業者間の連携・協働を図る新たな法人制度で、この度の広域災害への対応だけでなく、法人間が様々な面で連携を図ることで、ご利用者の命を守るということに留まらず、グループ法人としてのスケールメリットが期待できるのではないかと感じられる機会にもなりました。

「八王子市による社会福祉法人指導監査」

速報！

運営全般に対する助言・指導をもらいました

去る11月30日(火)、一誠会に対して八王子市による社会福祉法人指導監査が行われました。

社会福祉法人に対する指導監査は、所轄庁が法人の自主性や自立性を尊重し、法令や通知などに定められた法人として遵守すべき事項について運営実態の

確認を行うことにより、適正な法人運営と社会福祉事業の健全な経営の確保を図ることを目的として行われるものです。

社会福祉法人に対する指導監査には一般監査と特別監査がありますが、今回受審した一般監査は原則3年に1回実施されるものです。



訓練終了後は一誠会の鈴木理事長、戸井福社会の新谷理事長も出席し、三法人の懇親も深めることができました

社会福祉連携推進法人

社会福祉連携推進法人とは、複数の社会福祉法人がグループ化して設立する一般社団法人です。地域社会の複雑化し、多様化した福祉ニーズに応え、社会福祉法人の経営基盤の強化を推進していくために、災害対応に係る連携体制の整備、福祉人材不足への対応（福祉人材の確保や人材育成）、設備・物資の共同購入など、福祉サービス事業者間の連携方策の新たな選択肢として創設される新たな制度です。



法令や通知などに違反がある場合には文書にて指摘され、後日改善報告を提出することになります



指導監査にあたっては、膨大な帳票類の用意が必要ですが、大変正確に整備されていると評価をいただきました

ケアマネジャー向け研修会の報告

令和3年11月18日(木)に、加藤公恵先生(医療法人 永生会在宅総合ケアセンター長)を講師に招き、ACP「人生会議」をテーマに研修会を開催しました。

アドバンス・ケア・プランニング(Advance Care Planning)とは、将来の変化に備え、前もって考え、自分の望む医療や介護について、ご本人を主体に、ご家族や近い人、医療・ケアチームと繰り返し話し合い共有する取り組みのことです。

突然の病気や事故、認知症などで自己決定することができなくなってしまうなど、もしもの時を考え、周囲の人が戸惑わないように、自分らしく尊厳を持ち人生をまっとうできるように、準備しておくことが大切だと学びました。

また、講演では34歳で亡くなられた小椋麻呂さんのプログも紹介され、価値観や死生観についても考える機会ともなりました。



会場はホテルニューグランドで開催し、参加者は18人でした



自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人と共有することが重要です



地域の高齢者の方々への支援について



社会福祉法人 誠会
八王子市高齢者あんしん相談センター大和田
センター長 **梶原真由美**

令和2年5月にオープンした八王子市高齢者あんしん相談センター大和田も3年目を迎えます。その間、様々な出来事がありました。が、まずは地域の方々に高齢者あんしん相談センター大和田の存在を知っていただくことが一番の課題でした。顔の見えるセンターを目指し、大和田地区の各町会や自治会、民生児童委員会に出向き、三か月に一回広報誌「大和田だより」を7400戸にポストイングするなどしてセンターの存在をアピールしました。中でも一昨年、高齢者の方々を見守

り、孤独死を無くすことを目的に「高齢者見守りネットワーク」の構築を目指し、八王子市・警察・消防・町会や病院・薬局・銀行などの参加をいたしていたのキックオフを実施しました。オープンからこの間、緊急事態宣言下であったことなどを含め、コロナ禍での運営を強いられましたが、できる限り高齢者あんしん相談センターとしての業務にあたりました。今後も地域の高齢者の方々やご家族が生活していく中で困りごとに対して、真摯な気持ちで支援してまいります。

Column 1

ボランティア活動者学習・交流会への講師参加



多くの地域のボランティアさんが参加され、施設における活動の報告と感染予防を含めた対応の説明をいたしました

去る、令和3年11月19日(金)に石川市民センターにて開催された八王子市社会福祉協議会主催のボランティア活動者学習・交流会に偕楽園ホームの鷹野施設長が講師として参加し、地域の方々へコロナ禍におけるボランティア受け入れ状況を紹介しました。

Column 2

門松づくりで新年を迎える



経験豊富なボランティアさんに協力いただき、立派な門松を準備することができました

去る、令和3年12月26日(日)に偕楽園ホーム、初音の杜、第二偕楽園ホームにお正月に立てる門松づくりをしました。作製にあたっては、職員に対しボランティアさんからご指導いただきました。この場をお借りして、感謝申し上げます。

Contents

02 特集

広域災害を想定した総合防災訓練!
～岐阜県、北陸道のグループ法人との連携でご利用者の命を守る～

03 速報 「八王子市による 社会福祉法人指導監査」

04 トップリレー

社会福祉法人 誠会
八王子市高齢者あんしん相談センター大和田 センター長
梶原真由美

05 from 高齢者あんしん相談センター大和田

05 Column ①・②

偕楽園ホーム

06 from 特別養護老人ホーム

07 from 居宅介護支援事業所

初音の杜

08 from デイサービス

09 from グループホーム

第二偕楽園ホーム

10 from 地域密着型特別養護老人ホーム 短期入所生活介護事業所

11 from 看護小規模多機能型 居宅介護事業所

12 from 企業主導型保育所 かいらくえん

13 地域公益活動/苦情の窓/ロコの部屋

14 ご寄付・ボランティアの紹介 私のボランティア活動 理学療法士の健康豆知識

15 介護の相談箱 編集後記

16 職員紹介～注目の人～ イベントスケジュール 一誠会からのお知らせ

発行/社会福祉法人 誠会
〒192-0005 東京都八王子市宮下町983番地
TEL: (偕楽園ホーム) 042-691-2830
(初音の杜) 042-691-8283
(第二偕楽園ホーム) 042-691-0913
(高齢者あんしん相談センター大和田) 042-649-3280

from

from



担当のご利用者の益子さんと一緒に撮影

この度、新しく居宅介護支援事業所に配属になりました御厨と申します。居宅でのケアマネジャー業務は初めてとなりますが、先輩職員の熱心なご指導をいただきながら、居宅のご

着任のご挨拶
居宅サービス部
居宅介護支援課
ケアマネジャー
御厨 健介
(みくりやけんすけ)

利用者の支援について日々成長を実感しております。居宅介護支援の仕事について第一に学んだことは、ご利用者それぞれのニーズを聞き出すことの難しさ、大切さです。ケアマネジャーはケアプランを通じて、居宅で暮らす要介護・要支援認定を受けられた高齢者などの支援をしていきます。ご利用者のお宅を何回か訪問させていただいてお話を聞き取っているうちに、最初はわからなかった生活上の悩みや不安がこんなにあったのだと驚かされます。ご利用者の皆さまに安心信頼をいただくことで生活のニーズが把握でき、ご利用者のより良い生活につ

ながるのだと学びました。今後も居宅で暮らすご利用者のニーズを丁寧に聴き、支援につなげられるようにしていきたいと思っております。現在、借楽園ホームの居宅介護支援事業所には3名のケアマネジャーが所属しております。ともに学ばせていただき、今後もさらに安心して信頼いただけるケアマネジャーになれるよう、日々努力してまいりますのでよろしくお願いたします。



御厨ケアマネジャーの今後の活躍にご期待ください

クリスマス会でのケーキバイキングです。手が込んだケーキにご利用者の皆さんも大喜びでした



コロナに負けず、クリスマス会の開催で季節を感じる
新型コロナウイルス感染症の収束には至っていませんが感染予防対策を講じながらの行事開催となりました

新年もボランティアさんの協力を得ながらご利用者の皆さんのために力を尽くしてまいります



コロナに終始した2021年が無事に終わり、新年を迎えました。が年末の去る12月25日(土)には、クリスマス会を開催しました。余興の職員によるハンドベル演奏や合唱では、ご利用者も笑顔で手拍子をしながら楽しんでいただけようです。クリスマスが日本で広まったのは、大正6年生まれです。大正6年生まれですから、当時としてはなじみが薄かったと思われませんが、戦後になり子育てをしながらクリスマスも除々に日本に定着してきたのかもしれない。今回のクリスマス会では、ご利用者の皆様が多めに時間を分けて2部制にするなどの工夫をして開催しました。クリスマスを終えて飾りつけはお正月に向けて様変わりしました。

たのは一説によれば明治の終わり頃ともいわれています。借楽園ホームで最高齢の方は大正6年生まれですから、当時としてはなじみが薄かったと思われませんが、戦後になり子育てをしながらクリスマスも除々に日本に定着してきたのかもしれない。今回のクリスマス会では、ご利用者の皆様が多めに時間を分けて2部制にするなどの工夫をして開催しました。クリスマスを終えて飾りつけはお正月に向けて様変わりしました。

【借楽園ホーム定期巡回・随時対応型訪問介護看護】利用者募集中!

1カ月の定額で利用できるサービスです。介護職や看護師などによる定期的な訪問と随時の訪問を組み合わせ、24時間在宅で生活できることを支援するために必要なサービスを提供します。

- ◎訪問範囲：包括圏域の左入、石川、大和、川口、中野まで伺います
- ◎対象となる方：要介護1以上

社団法人一誠会 借楽園ホーム
〒192-0005 八王子市宮下町983番地
TEL 042-659-3366 FAX 042-691-8288 担当：安部、遠藤

ご利用料金(1カ月単位の定額制です)

定期巡回・訪問介護費(1割負担の場合)

要介護度	介護保険費用	利用者負担
要介護1	62,952円	6,295円
要介護2	112,357円	11,236円
要介護3	186,558円	18,656円
要介護4	235,995円	23,600円
要介護5	285,411円	28,541円

※自己負担割合は、所得に応じて1~3割と異なります。

利用者満足度を高めるために 利用者の希望を叶えるケアの実践

一誠会では、様々な認知症ケアの取り組みを行っています。
ここでは、初音の杜のグループホーム（以下GH）が行っている取り組みをご紹介します。



グループホームで過ごされている河野さん

利用者の希望を叶えるケア

グループホームでは、ご利用者の満足度を高めることを目的に、今年度ご利用者の希望を叶えるケアの実践を掲げて取り組んできました。

人は病気があって食事制限があるけれども好きなものを食べたいといったことや、思い出の場所に行ってみたい、会いたい人に会いたいなど希



各々のご自宅での時間リラックスされ過ごされました

大切なことは個別に応じること

ご夫婦でご入居されていたご利用者の旦那様が昨年お亡くなりになりました。そこでご夫婦の思い出の場所であるご自宅に一時帰宅していただきました。

望は様々であると思います。その中で先日、ご家族にも協力をいただきながら外出をする機会を企画しました。



旦那様と一緒に思い出の場所で1枚

認知症などの疾病で介護が必要になると外出も容易ではありません。そうした中行った今回の外出は、ご夫婦共にされた場所まで過ごせたことが何より一番の収穫でした。

ご利用者によりよいサービスを提供するために、生活や人生を反映した希望を職員が把握することが重要です。

今後も、ご利用者の気持ちを代弁できる支援を継続していきたいと思えます。

デイサービスで行う制作活動



この案山子を制作するにあたって、手先が器用で細かい作業を取り組める方にご参加いただきました

デイサービスでは、多くのレクリエーションプログラムがあります。その一つが制作レクです。

グループ活動を行うことで、自然に他者との関わりが生まれ、生活にハリをもたらします。また、手指を使う作業が多いことで、手や指の機能の維持と向上が期待されます。

さらに、一定時間作業に取り組むことで、集中力を高める効果も併せて期待できます。

制作活動の効果と発表の場



むかし若者ふれあい作品展は、新型コロナウイルス感染症の影響で昨年は開催が見送られましたが今年は開催されました



八王子介護フェアの様子。ご覧になられる方から興味をもたれ一躍注目をあびていました

この度は、ご利用者にもアイデアを聴き、紙粘土を用いた案山子をご利用者と制作しました。

できあがった案山子は、去る、11月10日（水）に、加住市民センターで開催した「八王子介護フェア」と、11月17日（水）から19日（金）に開催された八土子センター元気で主催された「昔わかもものふれあい作品展」に展示させていただきました。

制作活動は、出来るまでに時間を要しますが、多くの効果があり、満足度の高い取り組みになります。

さらには、作品展などへの展示の機会を設けていくことで作り上げたものの発表の場が意欲の向上にもつながります。

今後も、ご利用者と共に楽しく制作活動を行っていきたく思います。

レクリエーションで心身ともに健康に！ 医療依存度の高い方でも安心してご利用できます



レクリエーションプログラム。毎月ご家族やご利用者にもお渡ししています



「学校形式のレクリエーション」の一コマ。指導(?)にも熱が入ります



定番の風船バレー。盛り上がる
こと請け合いです

レクリエーションの 効果・効能

レクリエーションは「ご利用者や職員など他者との関係作り」「心身機能の維持・向上」などが挙げられます。そのほかにも認知症予防やそれに付随する症状進行の緩和など、様々な効果が期待できます。

また、レクリエーションによる適度な疲れは食欲増進や安眠促進を、腹筋の活用は便秘解消につながるな

ど、レクリエーションから得られるものは枚挙にいとまがありません。

レクリエーションで 心も身体も元気に！

看護小規模多機能型居宅介護事業所(以下看多機)は、医療依存度の高い方の利用が少なくありません。

したがって、第二借楽園ホームにおいてもレクリエーションの時間には看護職が常駐し、医療依存度の高いご利用者であっても、体

調の変化などにも気を配り安全に様々なプログラムを楽しんでいただいています。

新型コロナウイルスの影響により、高齢者のフレイル(健康と要介護状態の中間的段階)増加が大きな社会問題となっていますが、健康に不安のある方であっても安心して他者との交流や心身機能の維持・向上を図れるのも看多機を利用する大きなメリットともいえます。

外出の機会の大切さ コロナ禍による外出の自粛の弊害



自分で見て選んで決める。真剣です



車いすでの徒歩外出は冷たい風もきもちいい

新型コロナウイルスの感染拡大により、地域密着型特養でも、感染予防の観点から外出の機会は減っていました。
そこで、外出の機会をなくさないように、気分転換にコンビニへお買い物に出かけたり、また、施設から車いすでの散歩をしながら遠み切った青空の下、山の紅葉を見ながらのお散歩も皆さん晴れやかな笑顔で戻られました。
外出には、季節の変化を感じ

じる景色を見たり、他者と会話することで、視覚や聴覚から脳による刺激が得られ、気分が前向きになることにより脳機能が活性化されます。さらには、足腰の筋力が増え歩行機能など体力の維持・向上などにも効果が期待されます。今後もお利用者お一人おひとりのケアを大事に考え、コロナ禍であっても少しの工夫で感染予防しながら外出の機会をなくさないように支援していきたいと思えます。

短期入所 生活介護事業所

いつもと同じように 寝酒を楽しむ

ショートステイご利用者のお話しですが、利用開始から「家に帰りたい！」と気持ちが落ち着かないことがありました。そのことをご家族に相談し、少しのお酒とレンジで即席のおつまみを提供しました。

ご自宅の延長でいつもと同じように過ごすことで、家に帰りたい気持ちが和らぎました。

第二借楽園ホームでは、喫煙や飲酒をすることも可能です。今後もお自宅にいらっしゃるときと同じように過ごせるよう支援していきたいと思えます。

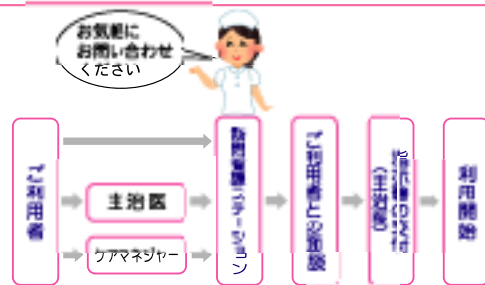


居室でほんの少しの寝酒を提供している事例はございますのでショートステイの利用の際、担当者にご相談ください

【訪問看護ステーション】利用者募集中！

看護師がご自宅に訪問し、定期的なバイタルチェックや医療的ケアの床ずれ予防、処置、在宅酸素の管理、ターミナルケアなどを行い、安心してご自宅で過ごしていただけるように支援するサービスです。

社会福祉法人一誠会 第二借楽園ホーム 訪問看護ステーション
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-691-1866 FAX 042-691-1870 担当：山口



高齢者や地域との関りの中で得られること



ハロウィンでは、ご利用者様にシールを貼ってもらいながら巡回しました



地域の方のご厚意で芋ほり体験をさせていただきました



第二偕楽園ホーム主催の芋煮会でダンスを披露しました

地域の中で得られる体験

第二偕楽園ホームのご利用者や地域の皆様と年度当初は感染予防対策として、思うように出来なかった交流ですが、少しずつ出来るようになってきました。

ハロウィンでは子どもたちが仮装してホーム内を巡回したり、お散歩中のご利用者とお話を楽しんだりしています。

また、地域の方のご厚意で芋ほり体験もでき、お土

産にいただいた野菜を使った「芋煮会」にも参加し、ダンスも披露しました。

今後は、季節行事を一緒に楽しんだり、昔遊びを教えていただくなどの交流がしたいと考えています。

高齢者との関わりの中で

昨今核家族化が進み、祖父母と同居しているご家庭が減り、高齢者と一緒に過ごす機会が少ない子どもたちも多くなりました。その中で意図的に交流の機会を

持つことは、子どもたちの心の中に「やさしさ」や「相手がどうして欲しいのか」に気付く気持ちが芽生える良いチャンスです。

また、高齢者の優しい眼差しや笑顔で子どもたち自身も受け入れられたという自己肯定感を持つことが出来ます。


子どもたちには色々なことに挑戦して、体験の中で自信をつけていって欲しいと思っています。

地域公益活動

八王子介護フェア開催

去る、11月10日(水)、第5回八王子介護フェアを開催しました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症のため中止となりましたが、今年度は感染症に配慮して予防をしながら、外出をする機会を作ることを目的に、加住市民センターの多目的室に地域の方々をお招きするとともに、ユーチューブによる動画配信も加え、ハイブリッドにも挑戦し開催しました。



介護フェアは、11月11日の介護の日にちなんだ地域の方々に介護のことを知っていただくイベントとして行ってきました

苦情の窓

偕楽園ホーム


与薬漏れに関する苦情

今年12月、第二偕楽園ホーム看護小規模多機能型居宅介護事業所(以下看多機)ご利用者(訪問週7日、通所週3日利用)のご家族より「自宅の薬箱の中に錠剤1錠落ちていました」とのお電話あり。

速やかに八王子市に事故報告を行っておりますが、本来、ご家族に準備していただいているお薬を職員が朝食後、夕食後に提供。空袋を所定の位置に戻し、服薬確認のサインをするという手順を踏んでおりましたが、訪問時は職員が一人で与薬せざるを得ないことからチェックが甘く、与薬漏れに至ったものと思われれます。

今後は、訪問時に提供したお薬の空袋は事業所に持ち帰り、日責職員(または夜勤者)と残薬がないかダブルチェックを行うことにより、再発防止に努めます。

「ご意見をお待ちしています。」



ロコと楽しい仲間たち


お魚さんの部屋

偕楽園ホーム、初音の杜、第二偕楽園ホームにはお魚がたくさん飼育されています。

喫茶「いこい」には色鮮やかな熱帯魚が喫茶店の雰囲気を彩り、中庭の池には、冬眠中のメダカも春の訪れを今か今かと待ち望んでいるようです。その他リハ室にも水槽があり、まさにお魚天国です。

ご利用者もコーヒーを飲みながら小さな熱帯魚を目で追っています。

ご利用者にとってまさに憩いの場になっています。



来園時は是非ご覧ください



園児募集中 ♥ **0歳から2歳**

介護・医療従事者の変動的な勤務体系にも対応し、土曜保育(要相談)、1日4~5時間、週2~3日といった短時間の受け入れも可能。ご相談受け付けます。

産休明け~満1歳未満	8:30~16:00	*保護者の勤務時間による
満1歳以上	7:30~18:30	

アレルギー・障害児保育: 要相談
延長保育 18:30~20:30: 要相談 (別途料金がかかります)

お問い合わせ
社会福祉法人一誠会 企業主導型保育所かいらくえん
〒192-0004 八王子市加住町1丁目16番地
TEL 042-691-1868 メール: hoiku@kairakuenhome.or.jp

ボランティアのご紹介

植田京子 長田百々代 柏木伸子 琴の会 すすらん 小室節子 佐藤鷹志 高木章子 塚谷眞奈美 東海林喜久子 林 陸太郎 宮下町町会

敬称は省略させていただきます。

ご寄付のご紹介

石井一幸 榎本和央 加住町会長 早川一夫 黒瀬明子 齋藤幸夫 佐々木鉄夫 高橋毅 西美穂 船山慶雄 松村悦子 森田洋子

敬称は省略させていただきます。



私のボランティア活動

麻雀ボランティア

デイサービスに麻雀ボランティアがいらつしやりご利用者と行っています。

麻雀はたくさん頭を使うので脳によく、最近若い方の間でも流行っているそうです。

偕楽園ホームではまだボ



ご利用者にとって交流の場にもなり楽しみの時間になっています

ランテニアの方がフロアに上がってくることはできないので、早く新型コロナウイルス感染症が緩和され、偕楽園ホームのご利用者にも麻雀を楽しんでいただきたいと思っています。

Green Days

グリーンデイズ Vol.111

発行: 社会福祉法人一誠会
発行日: 2022年1月15日
発行人: 鈴木康之
編集人: 鷹野賢一
住所: 東京都八王子市宮下町983番地

編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大からほぼ2年。出口の見えない閉塞感を抱えていた日本ようやく光が見え始めた中ではありますが、withコロナの下で一誠会を取り巻く環境もますます変化しております。

しかし、こうした時代だからこそ、一誠会は基本に忠実に「品質」というものにこだわり続け、新たなステージへの挑戦に向け、歩みを止めるわけにはいきません。

そして、一誠会が10年先、20年先の世代まで残っていくために、一誠会を応援して下さる皆様お一人おひとりの力をお借りしながら一歩先を見据えた価値の創造に努めてまいりたいと思っています。

新しい年がさらに良い年になるよう祈念いたしまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願いたします。

Twitterはじめました



社会福祉法人一誠会 常務理事 水野敬生

介護の相談箱

介護の専門用語について



Q 徘徊、傾眠などの言葉がありますがどのようなことでしょうか？

A 介護には、一般的な日常生活では使われない専門用語があります。

専門用語は、知っている人には伝わりやすいのですが、知らない人には理解できないだけでなく、不安さをも与えてしまうことがあります。

質問の内容については次のような意味があります。

徘徊：あてもなく歩き回ること、またはうろうろと歩き回ること

傾眠：うとうととした意識低下の初期の状態

これらの表現は、わかりやすく次のように言い換えると次のような場合に使われます。

徘徊→「〇〇から〇〇までの間を15分ほど往復されていた」

傾眠→「ソファで穏やかな表情で30分ほどうとうとされていた」

これ以外にも専門的に使われる用語がありますが、介護記録では専門用語は避け、わかりやすい用語を使うよう努めます。

※ 広報委員会では、皆様から事業所や記事に関するご意見、ご質問をFAXかメールで募集しています。FAX: 042-691-8288 メール: info@kairakuenhome.or.jp

【サービス付き高齢者向け住宅 第二偕楽園ホーム】



入居者募集中

サービス付き高齢者向け住宅は、高齢者が安心して暮らせるよう配慮された住環境と安否確認・生活相談といったサービスが付いたバリアフリー構造の高齢者住宅です。

詳細は、ホームページをご覧ください。下記お問い合わせまでご連絡ください。

【お問い合わせ】
社会福祉法人一誠会 第二偕楽園ホーム
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL: 042-691-1866 FAX: 042-691-1870
担当: 高橋

月額費用: 16万7490円/月 敷金、礼金は不要です。
(家賃6万円、共益費2万7540円、支援費2万7000円、食費5万2950円)

部屋数室: 12室 (全室個室 各18.63㎡)
居室設備: 洗面、トイレ、収納、エアコン、ナースコール、スプリンクラー
入居要件: 60歳以上の高齢者、要介護認定を受けた60歳未満の方
※介護サービスを受けられる場合には別途料金が発生します。

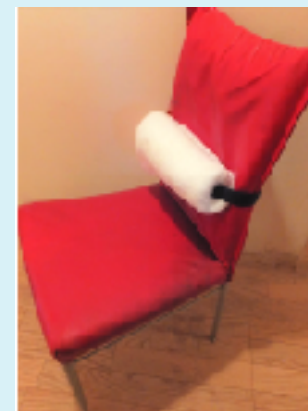
理学療法士の健康豆知識

手作り「椅子まくら」で腰痛予防!

長引くコロナ禍もあり、長時間のデスク・ワークなどで肩こりや腰痛を訴える人が増えているそうです。柔らか過ぎる座面や背もたれの形状が合わない椅子は、ねこ背姿勢による痛み・疲れを助長します。

椅子座位では、長時間でも腰に負担をかけにくい姿勢を作るために、骨盤を立てて座れることが重要です。

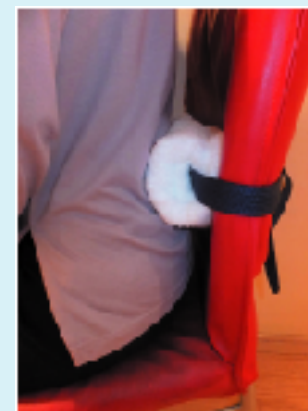
今回は、簡単に作れる椅子まくらでの腰痛予防方法をご紹介します。



背もたれの腰上辺りの高さでベルトを絞めて固定します



バスタオルベルト(ひも)を用意



背骨のS字カーブのくぼみの位置にまくらを調整します



ベルトを芯にしてドーナツ状に巻きます